

## 2017年度 教育課程編成・実施の方針に照らした学修への取組の適切性に関する検証

FD委員会

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの姿勢ふり返り（学科／研究科専攻の教育課程編成・実施の方針）」のデータを活用した検証です。

学科の教育課程編成・実施の方針については、本学ホームページの「教育方針」（下記のURL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学科・研究科専攻	検証の結果																					
医療経営管理学科	<table border="1"> <caption>検証の結果 (医療経営管理学科)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実体験に基づく学び</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>医療やいのちに関する体系的学び</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>実社会で使える知識・技能の修得</td> <td>4.6</td> </tr> <tr> <td>地域に対する当事者理解</td> <td>4.1</td> </tr> <tr> <td>健康に対する当事者理解</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td>対人関係能力の養成</td> <td>4.6</td> </tr> <tr> <td>心身の調整法・鍛錬法の日常化</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>実行力、考察力、課題解決能力の養成</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>成長サイクルの日常化</td> <td>4.2</td> </tr> </tbody> </table>	項目	数値	実体験に基づく学び	4.3	医療やいのちに関する体系的学び	4.7	実社会で使える知識・技能の修得	4.6	地域に対する当事者理解	4.1	健康に対する当事者理解	4.3	対人関係能力の養成	4.6	心身の調整法・鍛錬法の日常化	4.4	実行力、考察力、課題解決能力の養成	4.5	成長サイクルの日常化	4.2	<p>教育課程の編成・実施の方針に掲げている(1)～(3)の項目について、取り組みの適切性を6段階（1 全くそう思わない～6 非常にそう思う）で評価した。</p> <p>(1) 興味・関心をキャリア形成につなげる：(1-1) 実体験に基づく学び、(1-2) 医療やいのちに関する体系的学び、(1-3) 実社会で使える知識・技能の修得</p> <p>(2) 奉仕の心から福祉の心を育む：(2-1) 地域に対する当事者理解、(2-2) 健康に対する当事者理解、(2-3) 対人関係能力の養成</p> <p>(3) 主体性を発揮し実社会で活動する：(3-1) 心身の調整法・鍛錬法の日常化、(3-2) 実行力、考察力、課題解決能力の養成、(3-3) 成長サイクルの日常化</p> <p>全学年の平均値で 4.5 以上の高い数値を示していたのは、(1-2) 医療やいのちに関する体系的学び、(1-3) 実社会で使える知識・技能の修得、(2-3) 対人関係能力の養成、(3-2) 実行力、考察力、課題解決能力の養成、であった。</p> <p>初年次から正課内・外での実体験活動を促すなどの取り組みを強化し、教育方法・教育課程の検証を行う。</p>
項目	数値																					
実体験に基づく学び	4.3																					
医療やいのちに関する体系的学び	4.7																					
実社会で使える知識・技能の修得	4.6																					
地域に対する当事者理解	4.1																					
健康に対する当事者理解	4.3																					
対人関係能力の養成	4.6																					
心身の調整法・鍛錬法の日常化	4.4																					
実行力、考察力、課題解決能力の養成	4.5																					
成長サイクルの日常化	4.2																					